

津市コミュニティバスにおける次期再編に係る実証実験運行の状況

1 美杉地域

(1) 運行期間・運行日数

令和 6 年 1 0 月 2 1 日（月）から 1 2 月 1 3 日（金）まで・3 1 日間

(2) 運行実績

利用登録者：2 8 1 名、うち実利用者：5 1 名

述べ乗降人数：1 0 0 名

(3) 利用傾向

- ・ 8 割以上が火、金曜日（白山町行き）の利用
- ・ 月、水曜日（美杉町内）の利用はごく少数（調査乗車のみ）
- ・ 主な目的地は榊原温泉口駅 2 6 件、マックスバリュ川口 1 8 件
- ・ 一志病院は 1 件のみ（現行ダイヤを利用した人が多かったためと推測）

(4) 実証実験アンケート結果

【資料 5 - 2】美杉地域実証実験アンケート結果のとおり

2 安濃地域

(1) 運行期間・運行日数

令和 7 年 1 月 2 0 日（月）から 3 月 1 3 日（木）まで・1 5 日間

(2) 運行実績（令和 7 年 3 月 7 日時点）

利用登録者：6 4 名、うち実利用者：2 6 名

述べ乗降人数 7 7 名

(3) 利用傾向

- ・ 主な目的は買い物 3 3 件、病院 3 件、その他 2 件
（イオンタウン芸濃 2 4 件、ぎゅーとら芸濃店 7 件、ぜにや安濃店 2 件、
武内病院 1 件、伊勢谷医院 2 件、サンヒルズ安濃 2 件）

3 津地域

(1) 運行期間・運行日数

令和 7 年 1 月 2 9 日（水）から 3 月 2 1 日（金）まで・1 6 日間

(2) 運行実績（令和 7 年 3 月 7 日時点）

利用登録者：4 6 名、うち実利用者：1 9 名

述べ乗降人数 5 2 名

(3) 利用傾向

- ・ 目的は買い物 2 0 件
（津地域の買物施設の目的地はヤマナカアルテ津新町のみ）

美杉地域実証実験アンケート結果

令和 7 年 1 月

内容

1.	美杉地域実証実験アンケート結果	1
1.1.	アンケートの実施概要	1
(1)	運行期間	1
(2)	アンケート実施期間	1
(3)	配布・回収方法	1
(4)	回答状況	1
1.2.	アンケート結果	2
(1)	【問 1】年齢	2
(2)	【問 2】性別	2
(3)	【問 3】居住地	3
(4)	【問 4】普段利用している交通手段	3
(5)	【問 5】乗車曜日及び乗車便	4
(6)	【問 6】往復利用	5
(7)	【問 7】移動目的	5
(8)	【問 8】行きたい場所は目的地として設定されているか	6
(9)	【問 9】移動に便利だったか	6
(10)	【問 10】【問 11】【問 12】他の公共交通機関との乗り継ぎ	7
(11)	【問 13】電話予約は簡単か	7
(12)	【問 14】予約の受付期間は適切か	8
(13)	【問 15】予約の電話は 1 回でつながったか	8
(14)	【問 16】予約時や折返し連絡の説明はわかりやすかったか	9
(15)	【問 17】料金はいくらまでなら利用したいか	9
(16)	【問 18】今後もデマンド型交通を利用したいか	10
(17)	【問 19】改善点など	10
1.3.	アンケート結果の考察	11

1. 美杉地域実証実験アンケート結果

1.1. アンケートの実施概要

(1) 運行期間

令和 6(2024)年 10 月 21 日（月）から令和 6(2024)年 12 月 13 日（金）まで

(2) アンケート実施期間

令和 6(2024)年 10 月 21 日（月）から令和 7(2025)年 1 月 7 日（火）まで

(3) 配布・回収方法

デマンド型交通のバス車内で配布とし、回収方法は以下の 3 通りとした。

- デマンド型交通のバス車内の回収箱へ投函
- 美杉総合支所、美杉地域内の各出張所、三重県立一志病院、マックスバリュ川口店に設置の回収箱へ投函
- QR コードを読み取ってスマートフォン等（WEB）による回答

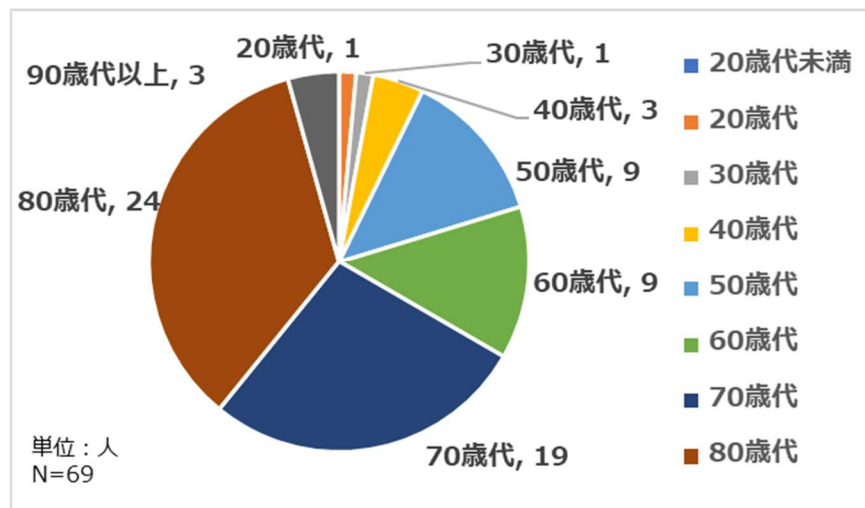
(4) 回答状況

アンケートの回答数は、69 票（WEB 回答 11 票、紙媒体による回答 58 票）であった。

1.2 アンケート結果

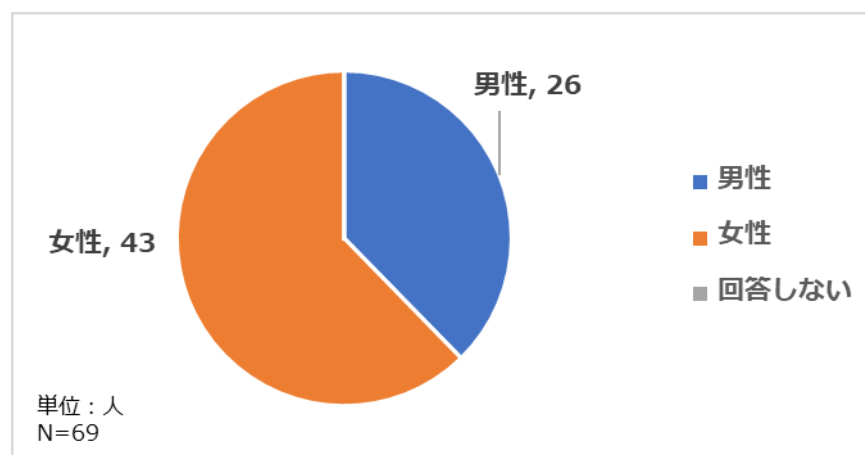
(1) 【問 1】 年齢

年齢は80歳代が全体の約35%、70歳代が全体の約28%であった。70歳代以上が全体の約67%である。



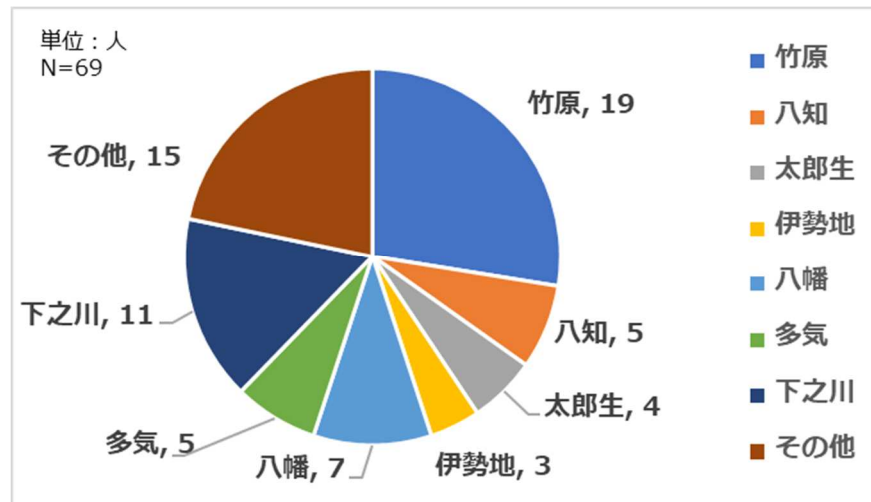
(2) 【問 2】 性別

性別は、男性が約 38%、女性が約 62%であった。



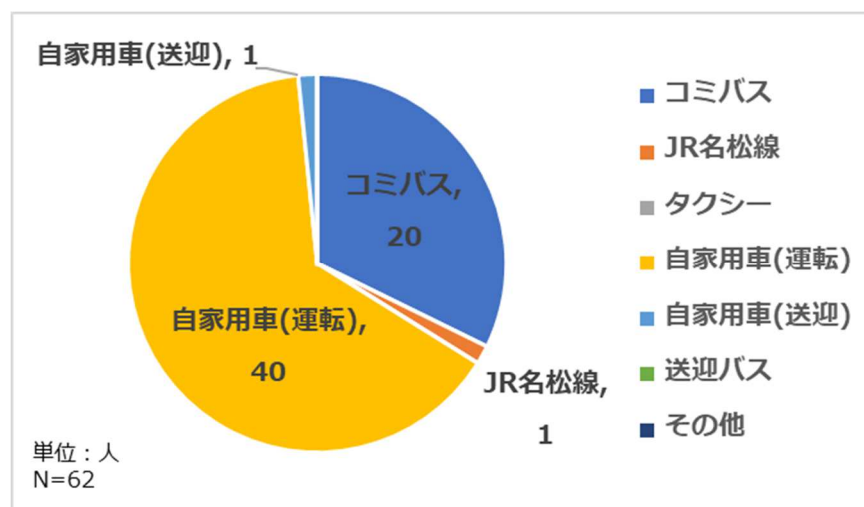
(3) 【問 3】居住地

居住地は、竹原地区が全体の約 28%、下之川地区が約 16%であった。



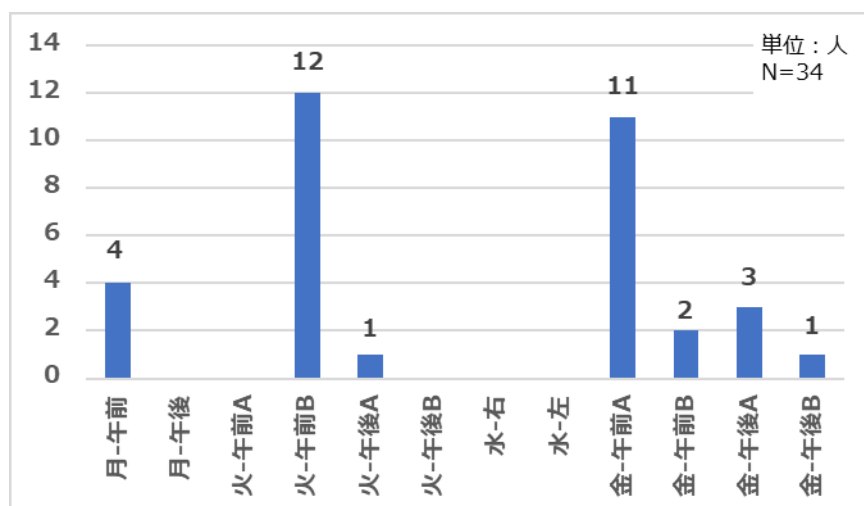
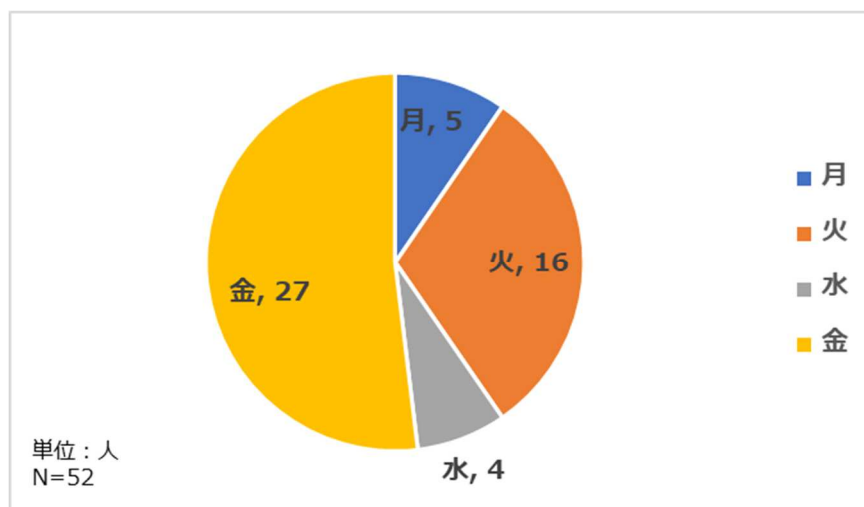
(4) 【問 4】普段利用している交通手段

普段利用している交通手段は、自家用車(自ら運転)が約 65%、コミュニティバスが約 32%であった。



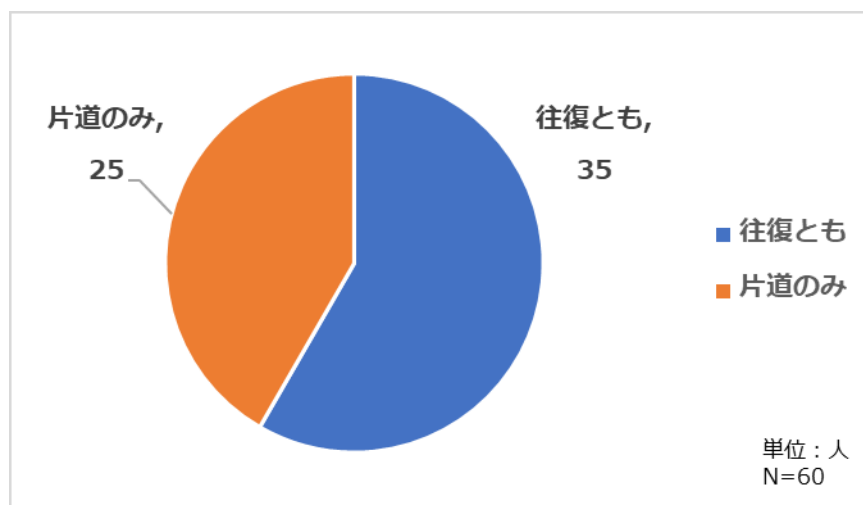
(5) 【問 5】乗車曜日及び乗車便

乗車曜日は、金曜日の乗車が全体の約 52%であった。便別では、火曜日 B ルートが 12 人、金曜日 A ルートが 14 人であった。



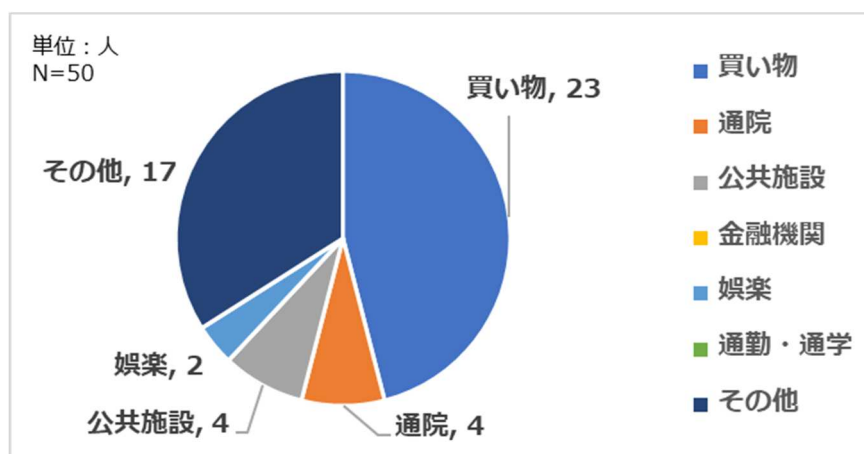
(6) 【問 6】往復利用

全体の約 58%が往復利用であり、約 42%が片道のみの利用であった。



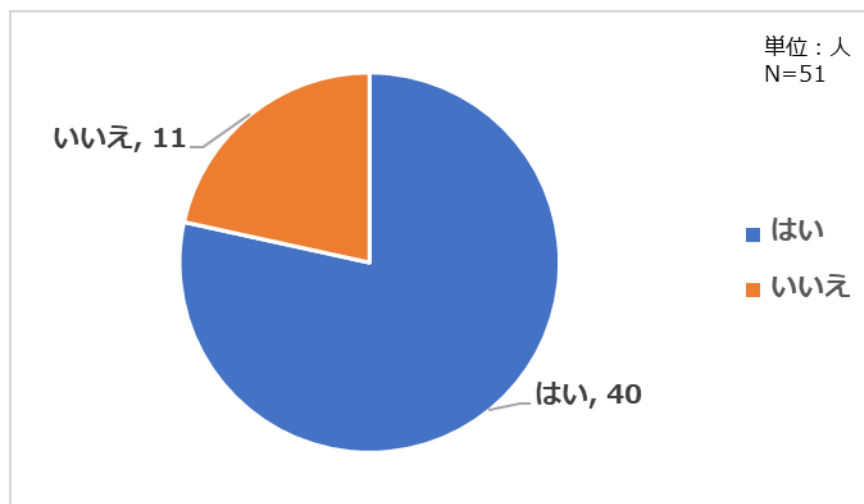
(7) 【問 7】移動目的

移動目的は、買い物が全体の約 46%であった。その他の目的については、17 人中 13 人が試乗目的である旨の回答であった。



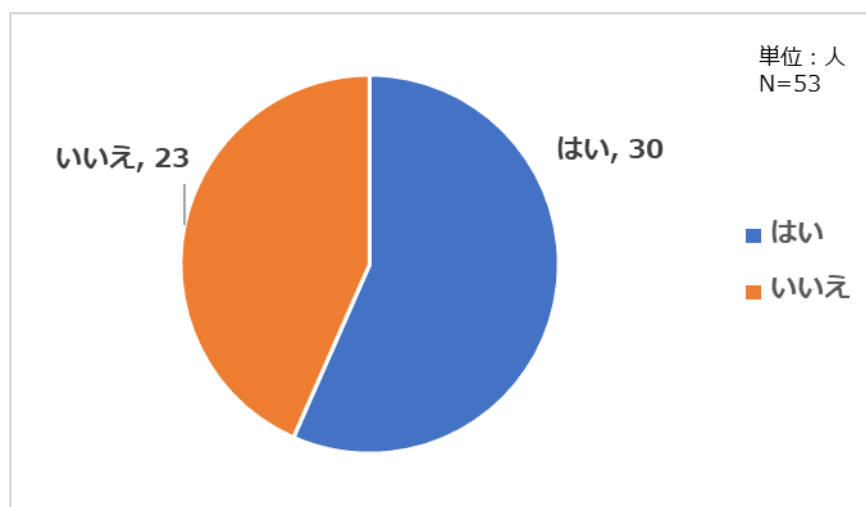
(8) 【問 8】行きたい場所は目的地として設定されているか

全体の約 78%が「行きたい場所に目的地が設定されている」と回答した。



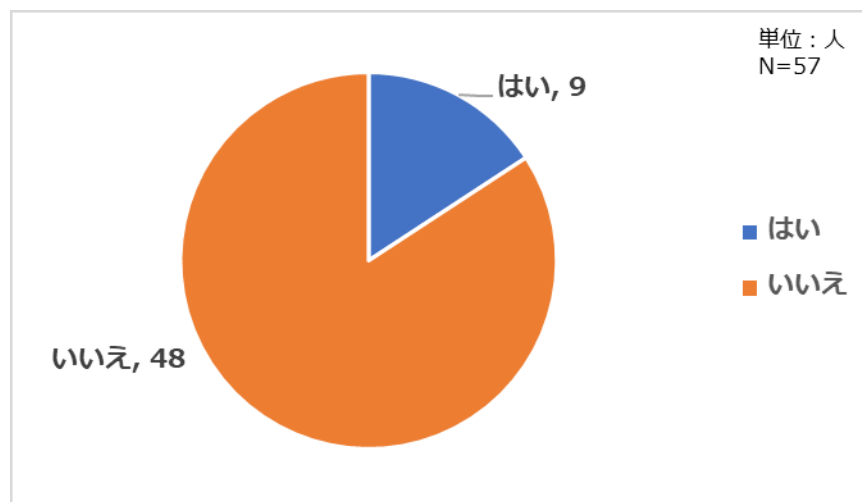
(9) 【問 9】移動に便利だったか

全体の約 57%が「移動に便利である」、約 43%が「移動に便利ではない」と回答した。「移動に便利ではない」理由として、17 人中 10 人が「待ち時間が長い、本数が少ない」旨の内容を回答した。



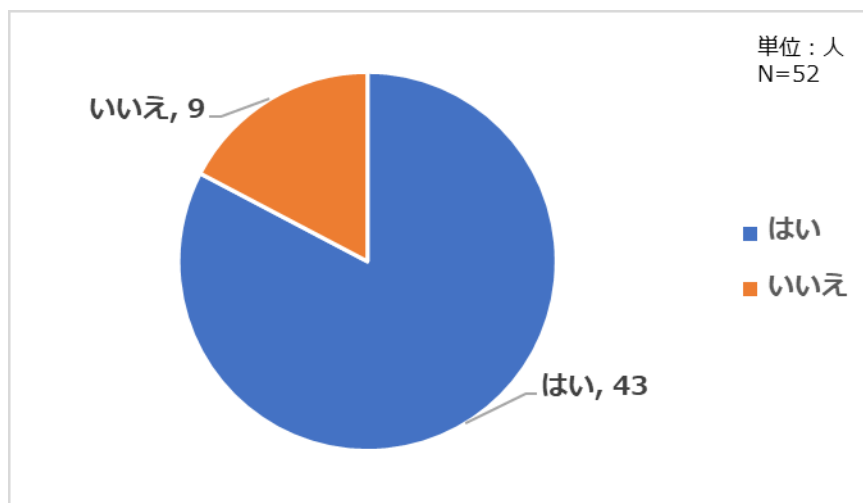
(10) 【問 10】【問 11】【問 12】他の公共交通機関との乗り継ぎ

全体の約 16% (9 人) が他の公共交通機関と乗り継ぎをしたと回答した。乗り継ぎ先は J R 名松線が延べ 4 人、近鉄 (榊原温泉口駅) が延べ 2 人、コミュニティバスが延べ 7 人 (マックスバリュ川口、関ノ宮が 5 人) だった。



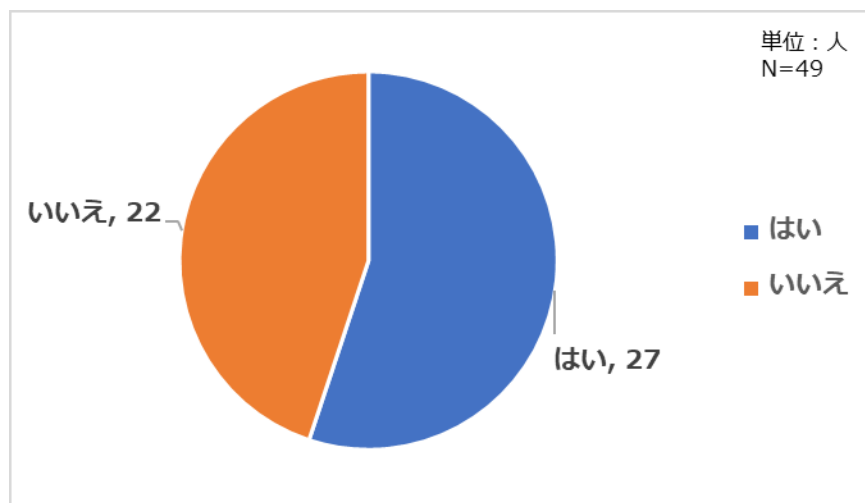
(11) 【問 13】電話予約は簡単か

全体の約 83%が、「電話予約は簡単である」と回答した。



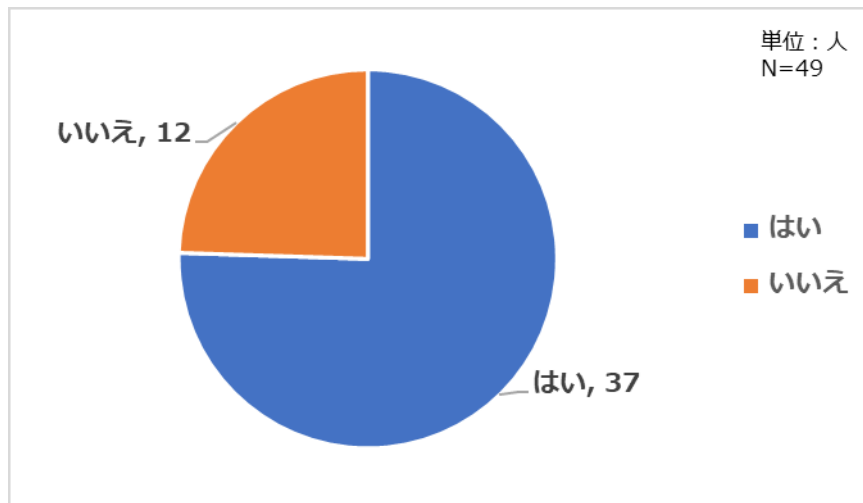
(12) 【問 14】 予約の受付期間は適切か

全体の約 55%が「予約受付期間は適切である」、全体の約 45%が「予約受付期間は適切でない」と回答した。「予約受付期間は適切でない」理由としては、14 人中 9 人が「当日も予約できるようにしてほしい」旨の内容を回答した。



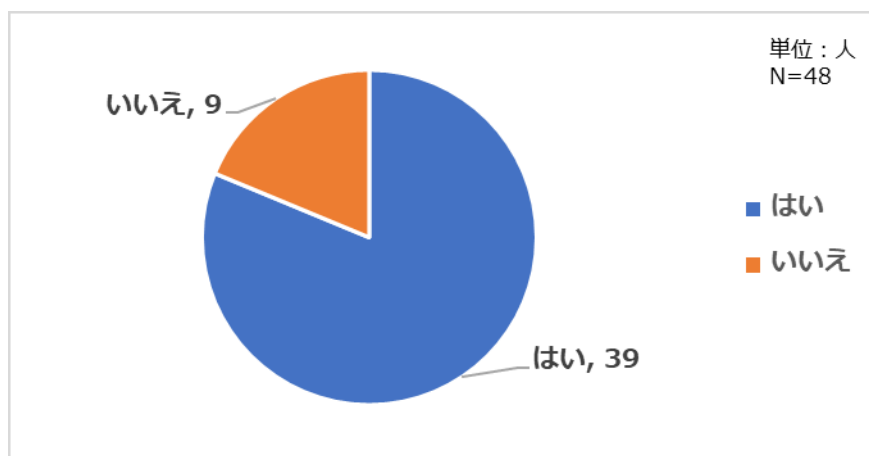
(13) 【問 15】 予約の電話は 1 回でつながったか

全体の約 76%が「予約は 1 回でつながった」と回答した。



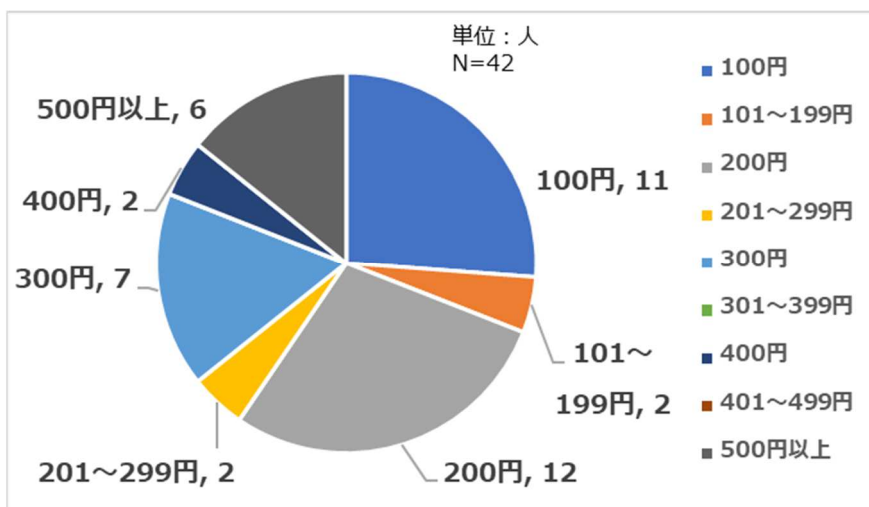
(14) 【問 16】 予約時や折返し連絡の説明はわかりやすかったか

全体の約 81%が「説明は分かりやすい」と回答した。



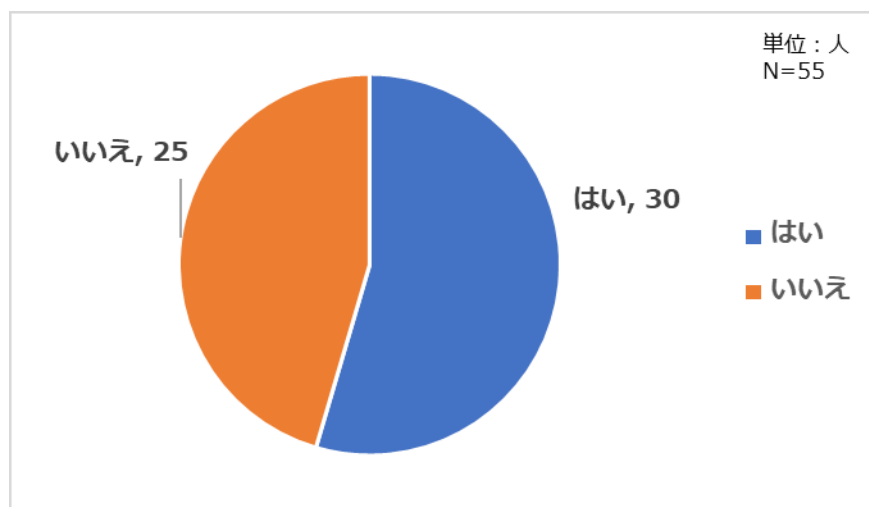
(15) 【問 17】 料金はいくらまでなら利用したいか

全体の約 26%が「100 円」、約 29%が「200 円」と回答した。一方で、全体の約 36%が 300 円以上の金額を回答した。



(16) 【問 18】今後もデマンド型交通を利用したいか

全体の約 55%が「今後も利用したい」、約 45%が「今後は利用したくない」と回答した。



(17) 【問 19】改善点など

主だった意見について、以下に示す。

- 第 1 に予約が面倒だし、予約してなければ乗れないというのは不便なので自由にしてほしい。第 2 に時間帯が利用者のことを全然考えていない。買い物にはよいが病院には受付時間に合わない。(70 歳代)
- 予約しての利用は、高齢者の方々には不安等の声が聞こえている。(70 歳代)
- 美杉は広域だから 1 台での運行には無理を感じる。(50 歳代)
- 週 2 日では少ない。毎日は無理でも、せめて週 3 日にしてほしい。(70 歳代)
- 家の近くにバス停があることはいいが、本数が少なく曜日のしぼりなどで、急な用事に対応してもらえない。乗れる人数は少なくてもいいので、もう少し融通がきくとよい。(50 歳代)
- 買物時間は 2 時間でよい。帰りまでの時間が長すぎる。高齢のため疲れます (90 歳代)
- 待機時間が長い。他地区への乗り継ぎが出来なかったら困る。(20 歳代)
- 川上からコミュニティバスで白山のコミュニティバスに乗り継ぎ会社へ行っています。バスが走らない時は自転車と名松線で通ってます。デマンドバスに変わると仕事をやめなければなりません。本数を増やしてください。時間を変えてください。通勤にも使えるようにしてください。(60 歳代)
- 利用者は高齢者なので、停留所は多くてもよいと思います。(80 歳代)
- このバスに乗らないのではなく、不便で乗れないです。今のバスを残してほしい。財政の悪化はよくわかりますが、どうかよろしく検討お願いします。(80 歳代)
- 一志病院の受付時間、名松線への乗りかえ時間も考えてほしい。(70 歳代)
- 乗下車の時のステップが高すぎて大変です (70 歳代)

1.3. アンケート結果の考察

- 利用者の年齢は、80歳代が約35%、70歳代が約28%で、70歳代以上が全体の約7割を占めている。また、普段主に利用している交通手段は、自家用車(自ら運転)が約65%、コミュニティバスが約32%であり、高齢者のコミュニティバスの利用率が高い結果となっている。
- 片道利用が約42%と全体の半数近くを占め、また、移動に便利だったかについては、約43%が「移動に便利ではない」と回答している。その理由として「待ち時間が長い」「本数が少ない」と回答した人が多かった。買い物や通院などの設定時間が適切でないダイヤが原因と思われる。
- 他の公共交通機関との乗り継ぎについては、全体の約16%（9人）が他の公共交通機関と乗り継ぎしたと回答した。乗り継ぎ先はJR名松線が延べ4人、近鉄（榑原温泉口駅）が延べ2人、コミュニティバスが7人（マックスバリュ川口、関ノ宮が5人）で、一定の乗り継ぎ利用が確認できた。
- 電話予約については、「予約が面倒・不便」といった意見もあるが、「電話予約は簡単である」「説明は分かりやすい」との回答が約8割あり、電話予約については概ね適切と言える。一方、「当日に予約できるようにしてほしい」との回答も多く、当日の予約が可能となる仕組みの構築が必要と思われる。
- 今後の利用について、約45%（25人）が「今後は利用したくない」と回答した。改善点（自由意見）として、「待ち時間が長い（14人）」「美杉は広域だから1台での運行には無理を感じる（6人）」「従来のコミュニティバスを続けてほしい（6人）」「本数が少なく、急な用事に対応してもらえない（7人）」「バス停を多くしてほしい（9人）」「一志病院の受付時間、名松線への乗りかえ時間も考えてほしい（3人）」「乗下車の時のステップが高すぎて大変（5人）」旨の回答が複数あったので、本格運行に向けて、住民の利用実態や利用ニーズに対応した運行を再検討していく必要がある。